

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

若草色の風が吹きぬける四月、それまでふたつに結っていた髪をポニーテールにまとめて、千鶴は中学生になった。

中学生なんて、なるときは、誰でもなる。地元の公立中学校だから、新入生の半数は知った顔。そう思うと気も楽で、入学の日もそんなに緊張しなかったけれど、唯一、クラス発表のときだけは胸がどきどきした。

千鶴が通う北見第二中学校は、一年生がA組とB組の二クラスだけ。このところ学区内の子どもは減る一方で、二年生と三年生も二クラスずつしかなく、このままでは北見第一中学校と合併されてしまうとも言われている。

一年A組か、B組か。確率は五十パーセント。

なのに、千鶴は小五のときからの親友、彩菜と離ればなれになってしまった。

「A組なんてやだ」

「B組なんてやだ」

「クラスがちがっても親友でいようね」

「うん。ずっとね」

彩菜と別れてひとり、A組をめざす千鶴の足は重かった。教室の戸へのばした指に、なかなか力がこもらない。思いきって引くと、^①しらじらとした殺風景な空間が目の前に開けた。

まだなんの思い出もない教室。机の数が少ないせいか、小学校の教室よりもすかすかして見える。まっ白な壁もよそよしく、窓が透かす空の色までがどんよりと暗い。

「千鶴！」

小六でおなじクラスだったレイミーが手をふっているのを見て、ようやく千鶴はほっとし、教室へ足を踏み入れた。

「座席順は黒板に書いてあるから、そのとおりに着席してくださいね」

教壇から指示する担任の藤田^{きただ}ありみ先生は、まだわりと若い、[※]ショートボブの女の人。一年間を無事にすごす上で、担任のキャラは重要だ。が、今はそれ以上に気になることがある。黒板の座席順に目をこらした千鶴は、それが出席番号順であることを知って、がつくり^②□を落とした。

【A】

クラス分けのたび、千鶴は「相本」^{あいし}なんて名字の男と結婚した母親をうらむ。この大事な日、

新しいクラスメイトたちとの初対面の場で、出席番号一番の生徒がどれだけ不利な立場に置かれることか。

黒板の座席順によれば、千鶴の席は、窓ぎわの最前列。一番すみっこ^③の角。

【B】

力なくそこまで足を進め、みそつかすみみたいな席に座ると、千鶴は自分が教室の誰よりも小さくなった気がした。一番前の角だから、前を見ても、左を見ても、誰の机もない。頼みの綱である右どなりにいたのは、北見小学校でみんなに恐れられていた久保さん。話しかけるには勇気がいる。

どん底の千鶴を救ったのは、後ろの空席へと近づいてきた女子だった。小柄で、[※]天然パーマで、一重まぶたが横に長い。目が合ったのでほえむと、ほえみかえしてくれた。

どうか、このまま後ろに座ってくれますように。

祈りが届いた。後ろの席にその子が鞆^{かばん}を載せた。【C】

「はじめまして。わたし、相本千鶴です」

^④千鶴は最大級の明るさをふりしぼって言った。

出席番号が一番の生徒は、相手から話しかけてくるのを待ってなんかられない。

(森絵都『クラスメイツ』)

※ショートボブ：おかつば頭に近く、後ろの部分をすっきりとさせ、後ろ髪を首の後ろ生え際あたりで切り揃えている長さのヘアスタイル。

※キャラ：キャラクター（性格）を省略した言い方。

※天然パーマ：自然の縮れ毛。

問一 【A】→【C】に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

- | | | | | | | |
|---|---|---------|---|---------|---|---------|
| ア | A | やった！ | B | やつぱり、だ。 | C | またか……。 |
| イ | A | やつぱり、だ。 | B | またか……。 | C | やった！ |
| ウ | A | またか……。 | B | やつぱり、だ。 | C | やった！ |
| エ | A | やった！ | B | またか……。 | C | やつぱり、だ。 |

問二 ―線部①「しらじらとした殺風景な空間」とあるが、それはどのような様子だと考えられるか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア すかすかの教室で、小学校のような飾り付けもない様子。
イ 真っ白な壁で、まだ何もなく、愛着も感じられない様子。
ウ どんよりとした空の色で教室の中まで暗く、味気ない様子。
エ 初対面のクラスメイトたちと表面的な付き合いをする様子。

問三 ―線部②「出席番号順であるのを知って、がつくり□を落とした」とあるが、後の問いに答えなさい。

(1) □に当てはまる言葉として、最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア 目 イ 顔 ウ 首 エ 肩

(2) 「出席番号順であるのを知って、がつくり」したのは、なぜだと考えられるか。最も適切なものを後から選び、記号で答えなさい。

ア 先生に質問された時には、他の生徒よりも真っ先に当てられてしまう、損な席であるから。
イ 一番前の席に座っていると、先生の目に止まってしまい、何も出来なくなってしまうから。
ウ 目立たない一番すみっこ角の席に座ることになり、クラスから取り残されてしまうから。

エ 千鶴は「相本」という名字を嫌っており、出席番号順ですぐ名前を覚えられてしまうから。

問四 ―線部③「千鶴は自分が教室の誰よりも小さくなった気がした」とあるが、この時の「千鶴」の気持ちを四十字以内で説明しなさい。

問五 ―線部④「出席番号が一番の生徒は、相手から話しかけてくるのを待ってなんかいられない。」とあるが、千鶴の気持ちはどのようなものであったと考えられるか。次の会話を読み、最も適切だと思うものを選び、ア～オの記号で答えなさい。

田中さん「みそつかすみみたいな席に座ると、教室の誰よりも小さくなった気がするんだよね。どうしても引け目を感じるから、居ても立ってもいられなかったんだよ。」

佐藤さん「そうかな？右どなりにいたのは、北見小学校でみんなに恐れられていた久保さんでしょ。話しかけるには勇気がいるので、思い切った行動が必要だったんじゃないかな？」

鈴木さん「久保さんは関係ないよ。最大級の明るさをふりしぼっていたので、いつまでも続かず、早く話しかける必要があったんだよ。」

山田さん「それよりも、クラスメイトから取り残されてしまう恐怖心の方が強く、居ても立ってもいられなかったんじゃないかな？」
伊藤さん「みんな良く考えて。窓ぎわの最前列の一番すみっこ角で、前や左には誰の机もないんだよ。自分から動かないとだめだったんだよ。」

ア 田中さん イ 佐藤さん ウ 鈴木さん エ 山田さん オ 伊藤さん

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

筆者は〈質問力〉を話題として、映画評論家である蓮實重彦が憧れの映画監督であるゴダールにインタビューをした時のエピソードを紹介している。蓮實はゴダールを前に緊張で頭が真っ白になってしまう。

さて、このとき彼は、いったいどういう質問をしたのであろうか？ ヒントは、この質問で、ゴダールは即座に仕事を止めて身を乗り出してきて、二人は一気に意気投合したということだ。たとえば、「私は、あなたの映画のなかでは……が好きですが、ご自身では何が一番好きですか」とかがまず普通考えられるところだが、面白みはない。「もう、飯食いましたか。まだでしたら、一緒にいかがですか」、「おいしいお菓子もってきたんですが、どうですか」では、一気に意気投合とはいかない。

最悪なのは、「あなたにとって映画とは何ですか」という類の質問であろう。そんなことを一言で言えというのは、非常識きわまりない。「私にとって映画とは愛です」とでも相手に言わせて自己満足に浸るインタビューは、〈質問力〉を鍛える努力を怠っている。その典型がいわゆるヒーローインタビューである。①「今のお気持ちを聞かせください」「うれいす」といったやりとりには、新しい意味が生まれる可能性がない。

※ イチローも、いつか、「今日はフォームがおかしかったんじゃないの」という質問には、「あなたにそう見えたんならそうでしょう」という、2 答えをしていた時期があった。これは、プロの領域であるフォームの問題にまで、しろうとが口を出すことに対する不快感の表明であろう。それを質問したのが、毎日見ていてくれる人ならばいい。二百本安打のときも、二百十本までの十本が実に自分にとってすごく大変だし大切だったのに、それを見にきていた人は少なかつたし、それについて聞いてくれる人もなかったとイチローは言う。(中略)

さて、ゴダールと蓮實重彦の話にもどる。彼は、こう切り出したのであった。「あなたの映画は、だいたいどれも一時間半ですが、それはあなたの職業的な倫理観からくるものでしょうか。」

これは、非常にすぐれた質問だと思う。相手が今一番関心をもって取り組んでいる作業（フィルムをカットしてつなぐ編集作業）に合わせているし、相手の過去についてちゃんと勉強をしてきていることがわかるし、長い映画が多くなっているという今の映画界の問題点がわかっていことが伝わるし、その上、相手のプロ意識を刺激している。

④ せっかく撮ったすばらしいシーンのフィルムを切りすてなければならない痛みはプロのみが知る痛みである。普通の人は、見ている映像のことしか考えない。カットされた部分に想像力を働かせることはない。それだけに、ついに誰も見るものがない、数しれない愛すべきシーンの存在に想いをさせることのできる者は、面識がなくても同志である。

この質問は完全にゴダールのツボにはまって、「よくぞいつてくれた、そうそう、まったくそうなんだ、今の監督たちは平気で三時間以上の長い映画をそのまんま出しているが、観客の立場からすれば一時間半のいい映画を二本見られるほうがずっといいはずだ。プロとしての努力が足りない」という感じで盛り上がっていったということだ。

つまり、相手に「これは話すに足るやつだ」という感^{かんしよく}触をもってもらわなければいい話ではないということだ。熱く語り合うには、それだけの熱をお互^{たが}いにもっている必要がある。そして情熱の質と実力はなされる質問の質ではかられることが多い。

（齋藤孝『できるひと』はどこがちがうのか）

※イチロー：プロ野球選手。アメリカ大リーグで年間二百本安打を記録した。

※職業的な倫理観：プロとしてゆずれない考え方。

問一 傍線部①『今のお気持ちを聞かせください』『うれしいです』といったやりとりとあるが、それはどのような「やりとり」か。最も適当なものを選びなさい。

- ア おうむ返し^{おうむがへし}のやりとり
イ 判で押したようなやりとり
ウ こなれていないやりとり
エ 素っ気ないやりとり

問二 空欄2に入る言葉として適当なものを選びなさい。

- ア ききずてならない
イ とりつくしまもない
ウ ゆだん^{ゆだん}ならない
エ ふにおちない

問三 傍線部③「相手のプロ意識」とあるが、ゴダールの「プロ意識」とはどのようなものか。最も適当なものを選びなさい。

ア 見えない部分にも工夫をこらした映像をつくること。
イ 限られた時間でよりよい作品を仕上げること。
ウ 観客の立場から良い映画を作る努力をすること。
エ 現在の映画界の問題点を改善する映画をつくること。

問四 傍線部④「普通の人」とあるが、これとほぼ同じ意味で用いられている言葉を五字以内で抜き出しなさい。

問五 傍線部⑤「盛り上がっていった」とあるが、この時の二人の様子を表した言葉を本文中から五字以内で抜き出しなさい。

問六 傍線部⑥「質問の質」とあるが、ここでは「質」の高い「質問」とはどのような質問だと考えられるか。四十字以内で説明しなさい。

三 次の傍線部①～⑬の漢字の読みを、ひらがなで書きなさい。

- | | |
|--|--|
| ① 栄光 ^{えいこう} にかがやく | ② 気候 ^{きこう} のよい土地 |
| ③ 種 ^{たね} が発芽 ^{はつが} する | ④ 市内 ^{しやうじん} を観光する |
| ⑤ たぬきに化 ^く かされる | ⑥ 体を反 ^{さか} らす |
| ⑦ 形勢 ^{けいせい} が逆転 ^{ぎゃくてん} する | ⑧ ひとり言 ^{ひとりご} をつぶやく |
| ⑨ 火星 ^{たいせつ} の引力 ^{ひんりき} | ⑩ 図書室 ^{としよしつ} の蔵書 ^{ざんしよ} |
| ⑪ 別の問題 ^{べつのもんだい} に派生 ^{はいせん} する | ⑫ 親鳥 ^{おやどり} がひなを育 ^{そだ} む |
| ⑬ ビルの屋上 ^{えいじやう} | ⑭ 魚屋 ^{いさや} を営 ^い む |
| ⑮ 数 ^{かず} が等しい | |

四 次の傍線部①～⑮のカタカナを、漢字に直して答えなさい。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① ぼくは足がハヤい | ② 九九をアンキする |
| ③ 古いヤカタ | ④ 料金をセイサンする |
| ⑤ ソザイを生かす | ⑥ 線路にソつて歩く |
| ⑦ 番号を丸でカコむ。 | ⑧ ソウリ大臣の判断 |
| ⑨ 川の水がゾウスイする | ⑩ 主語とジュツゴ |
| ⑪ 一回戦でシリゾいた。 | ⑫ 画家をココロザす |
| ⑬ ホドウを歩く | ⑭ 運動会がエンキになる |
| ⑮ 小鳥を空にハナす | |

五 次の音や様子に合う言葉を語群ア～コから選び、記号で答えなさい。

- ① 人や物をすきまなくつめこむ様子。
- ② 人や物がほとんど入っていないですいている様子。
- ③ 人が声をあげてひどく泣く様子。
- ④ 人が弱々しく泣く様子。
- ⑤ 水けや油けがなく乾^{かわ}いている様子。
- ⑥ ひじょうにかたい様子。
- ⑦ 話し方や行動がはっきりしている様子。
- ⑧ 自信がなく、不安そうにしている様子。
- ⑨ 雨はげしく降る音。
- ⑩ 雨が静かに降る音。

【語群】

ア	ひそひそ	イ	かちかち	ウ	ざあざあ	エ	ぎゅうぎゅう
オ	しとしと	カ	ばさばさ	キ	さらさら	ク	はきはき
ケ	がらがら	コ	おどおど	サ	しくしく	シ	わんわん

平成三十一年度

曉星國際中學校

國語

入学試験

解答用紙

受験番号

氏名

[illegible]